



2 帆船日本丸

Sail Training Ship NIPPON MARU

1930(昭和5)年建造の練習帆船。約54年間、地球を45.4周する距離(延べ183万km)を航海し、11,500名もの実習生を育てる。現在は船員の実習を体験する海洋教室や全ての帆をひろげる総帆展帆などを行っています。

国指定
重要
文化財

1 旧横浜船渠株式会社 一号船渠(第一号ドック)

Yokohama Dock Company, Ltd. No.1 Dock.

1898(明治31)年建造当初の長さは約168m、横浜港に入港する船舶の大型化に伴い、1918(大正7)年にドックを約204mに延長。幅約39m、深さ約11m。現在は帆船日本丸を係留するドックとして保存活用されています。

国指定
重要
文化財

5 ハンマーヘッドクレーン

HAMMERHEAD CRANE

1914(大正3)年に新港ふ頭に設置された日本で最初の湾港荷役専用クレーン。最大50トンまで運べ、金づちに似た形状から「ハンマーヘッドクレーン」と呼ばれ親しまれました。

土木
遺産

4 港一・二・三号橋梁 (汽車道)

Kishamichi Promenade

新港ふ頭と陸地を結んだ1911(明治44)年開通の臨港鉄道の一部約500mを利用した海を渡る遊歩道。レールや橋梁が残っています。

近代化
産業遺産

3 ドックヤードガーデン (第二号ドック)

Dockyard Garden (No.2 Dock.)

日本に現存する民営の石造りドックとしては最も古い「旧横浜船渠第二号ドック」を後世に残そうと、ランドマークタワーの開業にあわせて復元工事を行い、ドックヤードガーデンとして蘇りました。現在は屋外イベントスペースに。

10 神奈川県立歴史博物館 (旧横浜正金銀行 本店本館)

Kanagawa Prefectural Museum of Cultural History

1904(明治37)年建造。コリント式の重厚な石造彫刻の柱頭飾りをもつ大オーダーと、正面に据えられた巨大なドームが特徴で、ネオ・バロック様式とされる威厳ある外観。1967(昭和42)年に関東大震災で消失した屋上ドームを復元しました。

国指定
重要
文化財

9 神奈川県庁

Kanagawa Prefectural Government Main Building
(King's Tower)

表面に凹凸がある茶褐色のタイルと独自の幾何学模様の装飾は当時流行のアル・デコ様式の影響を感じさせるとともに、五重塔をモチーフとしたとされる高さ約49mの塔を持つ「横浜三塔」の一つ「キング」。

国指定
重要
文化財

はんせんにっぽんまる

帆船日本丸

周辺

文化遺産

cultural heritage

めぐり

開港の歴史を思わせる建造物、横浜発祥の文化。
日本丸周辺の文化遺産をめぐる旅に出かけよう!

6 横浜赤レンガ倉庫

Yokohama Red Brick Warehouse

明治末期から大正初期に国の模範倉庫として建設されたレンガ造りの歴史的建造物。2002年に当時の面影を残したまま文化・商業施設として生まれ変わり、60店舗以上のレストランや雑貨店が入っています。

近代化
産業遺産

7 横浜市開港記念会館

Yokohama City Port Opening Memorial Hall
(Jack's Tower)

1917(大正6)年、横浜開港50周年を記念し、市民から寄付を募って建設された公会堂建築。「横浜三塔」の一つで高さ約36mの時計塔は通称「ジャック」。2階にあるステンドグラスは必見です。

国指定
重要
文化財

8 横浜税関

Yokohama Customs

(Queen's Tower)

1934(昭和9)年、ロマネスクなど西欧建築様式が混在した、青緑色のドームが特徴の高さ51mの塔を持つ「横浜三塔」の一つ。「クイーン」の愛称で親しまれています。

横浜市
認定歴史的
建造物

